

滝沢市水道事業中期経営計画(後期) 10 施策別目標値 p.46～

1 安心・安全 安心して飲むことができる安全な水道						
重点 施策	施策目標	令和4年度目標値	進捗 状況	主な取組内容・達成値	次期 方針	次期方針概要
水源の 確保と 保全	地下水率の向上					
	地下水率の向上	地下水率98%	B	令和3年度末98%		
	一本木水源の利用拡大	大湧口水源利用拡大	C	連絡管の設計及び道路改良工事区間への布設実施		
	地下水源の長寿命化					
	柳沢水源取水ポンプ交換	取水能力4,000m ³ /日の維持	A	令和3年度第3水源取水ポンプ交換実施		
	柳沢水源井戸再生(洗浄)		A	ポンプ交換工事に合わせて実施		
	新規地下水源の確保					
	姥屋敷地区地下水源	1井戸:1,000m ³ /日確保				
	柳沢地区地下水源	1井戸:1,000m ³ /日確保				
	水源保全用地取得					
姥屋敷水源等水源地周辺	地権者意向確認実施	D	令和3年度に1地権者の意向確認をしたが予算がなく取得せず			
水源地の適正保全	適正に保全されている	C	取得した用地の間伐及び下草の除草実施			
安全な 水の 供給	水源の監視・警備の継続					
	主要施設の監視・警備の継続	施設の異常未発生	B	全施設の機械警備を継続、監視カメラを1か所増設した		
	水質検査計画による水質監視	水質監視実施	B	適正な水質管理計画を策定し、水質検査を実施した		
	水質管理の強化					
	水安全計画の運用	計画の運用・行動	C	水安全計画の運用を継続した		
	水道水質基準適合率	100%	B	水質基準超過なく適正な浄水処理を継続した		
表流水のろ過水濁度	0.1度以下	B	ろ過水濁度が0.1度を超えることなく浄水処理を継続した			
給水サ ービス の向上	適正な水圧管理					
	管路、減圧弁の適正管理	3階直圧給水が可能な状態	C	管網水理計算により、区域特定済み		
	適正水圧の確保	小規模貯水槽解消が可能な状態	D	管網水理計算により、区域特定済み		
	貯水槽水道への管理指導					
	水質基準適合率(残塩、濁度、色度)	全ての貯水槽適合	B	利用者へ調査票により確認し、指導を実施した		
	貯水槽の現地指導	指導率100%	C	利用者へ調査票により確認し、指導を実施した		
	断水範囲の縮小					
管網のループ化計画策定と実施	柔軟な断水対応が可能な状態	D	管網のループ化計画策定には至らなかった			
適正な断水範囲の検証	検証の実施	C	新システムにより断水範囲の検索を可能とした			

2 安定・強靱 安定した給水を実現する強靱な水道

重点 施策	施策目標	令和4年度目標値	進捗 状況	主な取組内容・達成値	次期 方針	次期方針概要
水道施設 の適正化	水道施設の最適化の検討					
	水需要調査・把握	水需要の把握	B	大口需要家の動向・大規模開発の情報把握		
	表流水の浄水処理廃止の検討	柳沢低区浄水場の廃止	D	必要な整備が完了せず廃止に至らなかった		
	適正規模の施設更新					
	施設情報管理システム整備	長寿命化・適正更新	C	更新情報を反映させ適切に利用した		
	基幹水道施設整備計画策定	計画事業の実施	D	中長期の更新計画策定には至らなかった		
	老朽水道施設更新計画策定	計画事業の実施	D	中長期の更新計画策定には至らなかった		
	配水池貯留能力の向上					
	柳沢高区系配水池増設	1基1,000m ³	D	増設から更新へ見直し設計を進めているが期間内の建設に至らなかった		
	配水池貯留能力の向上	0.87日	E	柳沢高区第2配水池の増設による向上予定だったが、中止し更新へ変更		
	主要幹線管路の計画的更新					
	配水管整備計画策定	連絡管等 3,200m	D	中長期の更新計画策定には至らなかった		
	老朽管更新計画策定	10,800m	D	中長期の更新計画策定には至らなかった		
	管路の耐震化率	34.5%	B	令和4年度末34.5%見込み		
	工事の効率化	他事業との調整	B	県道・市道の道路改良工事と工程調整を実施した		
	管路情報システム整備	システム活用・更新	B	新システムを稼働し、漏水修理情報等の蓄積を実施した		
	有収率の向上					
	配水流量計室の整備（配水区域）	12室整備	C	後期4年で2室設置		
	漏水防止に係る研修実施	研修実施	B	漏水防止講座受講		
	漏水調査の実施と迅速な修理	調査・修理の実施	B	漏水調査及び修繕を実施した		

2 安定・強靱 安定した給水を実現する強靱水道

重点 施策	施策目標	令和4年度目標値	進捗 状況	主な取組内容・達成値	次期 方針	次期方針概要
災害時 応急 対策の 推進	安定した給水の実現					
	同一水源間バックアップ強化	井戸再生・ポンプ更新	C	柳沢取水ポンプ場のポンプ更新及び井戸洗浄を実施した		
	各地下水源間連絡管整備	大湧口～岩手山水源	C	連絡管の設計及び道路改良工事区間への布設実施		
	市内配水系統間の連絡管整備	一本木～柳沢高区系	C	柳沢地区において道路改良工事区間への布設実施		
	隣接市町との連絡管の整備	盛岡市・雫石町	B	滝沢市穴口・盛岡市みたけ地区		
	連絡管の操作訓練	合同訓練の継続実施	B	隣接市との合同訓練を実施した		
	災害に対応できる体制の構築					
	災害対応マニュアルの整備	訓練・検証・改定	C	令和元年度一部改訂		
	受援計画の調査研究	事業継続計画に反映	D	未策定		
	事業継続計画（BCP）の策定	訓練・検証・改定	D	未改訂		
	緊急給水機能の向上					
	緊急貯水槽の整備（H31以降）	事業休止				
	重要給水拠点への耐震管整備	整備推進	B	配水管布設替工事により耐震化が図られた		
	応急機材の計画的整備	機材の充実	B	使用分の補充、不足機材の購入を実施した		
給水 区域 の 拡大	給水区域の一体的運用					
	事業認可変更	続き終了				
	水系間の水融通機能の向上	水融通機能の向上				
	柳沢開拓専用水道との相互理解					
	柳沢専用水道組合との意見交換	方向性の決定	C	当面、組合継続の意思確認		
組合からの要請に基づく支援	対応実施	C	要請なし			

3 環境・持続 環境に配慮した持続可能な水道

重点施策	施策目標	令和4年度目標値	進捗状況	主な取組内容・達成値	次期方針	次期方針概要
顧客サービスの向上	窓口業務・料金業務の充実					
	料金徴収業務の民間委託	次期委託仕様の検討	B	令和3年度に次期委託の仕様決定、契約締結		
	利用者サービスの向上	ワンストップサービスの継続	B	ワンストップサービス継続		
	委託業務の的確な管理	業務総合評価の実施	B	業務評価実施		
	スマートメーター導入研究	導入研究	A	令和2年から3年度末にかけて実証実験実施		
	納付方法のサービス向上	多様な納付方法の検討実施	B	令和4年度コード決済対応予定		
	広聴・広報の充実					
	水道定期アンケートの実施	H34実施・計画反映	A	令和3年度アンケート実施		
	地域社会アンケート（企画総務部実施）	結果を分析	B	令和2年度結果を分析		
	水道広報発行	毎年2回発行	A	令和2年度3回発行		
	パンフレット随時作成・配付	最新ガイド配付	D	ガイドは平成29年度に作成後改定なし		
	出前講座・施設見学会の実施	継続実施	D	ウイルス感染対策等のため一部未実施		
	体験型啓発活動の実施	自治会等団体見学会	D	ウイルス感染対策等のため一部未実施		
	子供向け水資源・水道事業の啓発活動	多様なメニューの工夫	D	ウイルス感染対策等のため一部未実施		
	審議会公開	公開継続	B	公開継続		
	情報管理の適正化					
	個人情報の保護	情報漏えい未発生	B	情報漏えい未発生		
	委託業者の業務監督	情報漏えい未発生	B	情報漏えい未発生		
	電算システムのセキュリティ充実	滝沢市情報セキュリティ基準を満たしている。	B	滝沢市情報セキュリティ基準を満たしている		
環境対策の推進	環境に配慮した取り組みの展開					
	市民の水源保護意識の啓発	水源めぐり等の実施	D	ウイルス感染対策等のため一部未実施		
	水源保護用地森林の適正管理	取得した森林の適正管理	C	取得した用地の間伐及び下草の除草を実施した		
	事業副産物の適正処理継続	100%適正処理	B	浄水汚泥の適正処理を実施した		
	環境負荷軽減の活動実施	活動の継続実施	C	天候や季節に応じ、適正な施設運転を実施した		
	省エネルギー化の取り組みの展開					
	水の位置エネルギー活用	自然流下施設配置の継続	C	現状で自然流下の配水池について、自然流下を継続した		
	湧水利用による電力消費抑制	柳沢大湧口の利用拡大	C	連絡管の設計及び道路改良工事区間へ布設した		
施設更新時の省エネルギー機器導入・再生エネルギーの導入研究	更新設計時に省エネルギー化の検討実施	C	更新設計時に省エネルギーの工法、機種を選定を検討した			
環境に配慮した車両運用	環境配慮した運用実施	C	適切な点検整備、安全・経済走行により環境への負荷低減を図った			

3 環境・持続 環境に配慮した持続可能な水道

重点 施策	施策目標	令和4年度目標値	進捗 状況	主な取組内容・達成値	次期 方針	次期方針概要
財政の 健全化	適正な水道料金の設定					
	水道料金改定方針の決定	審議会諮問	C	令和4年度諮問予定		
	水道料金算定要領の改訂	必要に応じ改訂	C	必要があれば令和4年度改定		
	水道料金改定の検討	検討実施（時期検討）	C	令和4年度検討実施予定		
	財政の健全化					
	アセットマネジメントによる施設更新	財政計画見直し	B	令和3年度アセットマネジメント補正業務		
	施設長寿命化	マイクロマネジメントが実践されている。	B	日常の適正な維持管理と保守点検結果の利用		
	他事業との工事調整によるコスト削減	コスト縮減額検証	C	工事調整によりコスト縮減		
	地下水源の利用拡大によるコスト削減	柳沢低区浄水場施設廃止	D	地下水源使用率増、柳沢低区浄水場稼働継続		
	委託・広域連携の最適化検討	経費削減効果等検証	D	盛岡市等と情報交換		
企業借入額の規範性	企業借入限度額が設定され財政計画へ反映。	B	限度額を設定し財政計画に反映			
水道料金未納対策	不納欠損率0.2%以下	A	令和元年度調定（令和3年度処理）分0.02%			
一般会計繰入金の安定化	合意形成・予算対応	B	市長部局と合意書締結			
一般会計との経費負担負担の適正化	協定締結	B	市長部局と協定締結			
人材育成と 組織力の 強化	企業職員確保育成方針の運用					
	人材育成の実践	運用実施	C	滝沢市企業職員確保育成方針の策定		
	岩手紫波地区水道事業協議会研究会への参加	職員参加	B	研究会参加		
	有能な人材の確保・育成と機能的な組織づくり					
	技術系職員の育成・人事交流検討	市人事部局との協議	D	協議未実施		
	事務系職員の減員	3名減員	B	料金徴収業務委託により人件費削減		
	技術系職員の定数見直し	合理的な定数の確保	D	見直し未実施		
	上下水道部組織見直し	上下の担当相互兼務	C	下水道課所管事務を一部水道総務課に移管		
	水道技術管理者水準の職員育成					
	計画的な職員育成	専門研修会の受講	C	専門研修会の受講		
技術管理者水準の職員複数配置	年度当初に複数名が配置されている。	B	上下水道部内に有資格者2名以上配置			

3 環境・持続 環境に配慮した持続可能な水道

重点 施策	施策目標	令和4年度目標値	進捗 状況	主な取組内容・達成値	次期 方針	次期方針概要
官民 連携・ 広域 連携の 推進	効率的な業務委託の推進					
	料金徴収業務の民間委託	経費削減の検証	D	詳細な検証は未実施		
	業務の点検評価による委託効率化	履行状況の点検評価	C	料金徴収業務の業務評価実施		
	支援協定の締結	訓練実施	C	訓練一部実施		
	表彰制度検討	業者表彰検討実施	D	表彰制度検討未実施		
	民間活力導入の研究	情報収集・研究	C	情報収集		
	周辺事業者との連携強化					
	災害訓練の実施	合同訓練実施	B	北東北及び盛岡市合同訓練を実施した		
	機材の融通	機材融通の連絡調整	C	連絡調整を実施した		
	研修会共同開催	研究会開催・参加	C	岩手紫波地区水道事業協議会研究会等に参加		
広域化の検討	共同化等によるコスト削減や組織力強化の検討実施	D	盛岡市等と情報交換			

進捗状況		次期方針	
A	目標以上	1	重点事業化
B	目標達成	2	計画通り
C	概ね目標達成	3	計画変更
D	目標未達成	4	計画中止
E	事業中止	5	事業完了